

第7回システム性能を考慮した産業施設諸機能の耐震性評価研究委員会
議事録

日時：平成24年8月28日 15時～17時

場所：建築会館 301会議室

出席者：高田（委員長：横浜国大）、中村（幹事：篠塚研究所）、新谷（福井大）、古屋（東京都市大）、大谷（IHI）、植竹（東京電力）、境（ハザマ）、服部（東急建設）、静間（篠塚研究所）（敬称略）計9名

配布資料： 委員会成果報告書案

「序章」「終章」高田委員長

「産業施設の被害調査」大谷委員

「産業施設の被害調査（建築的視点から）」境委員

「2011年東北地方太平洋沖地震による電力設備の被害について」植竹委員

「上下水道施設の被害調査」（馬場委員欠席のため、配布のみ）

「ブール代数とシステム信頼性」中村幹事

「フォルトツリー解析」静間委員

「システムの目標耐震性能を満たす設計法、評価法の概要」新谷委員

内容：委員会成果報告書の作成経過報告

上記各委員より、委員会成果報告書の進捗状況について、配布資料に従い報告があった。また、古屋委員、服部委員からは口頭でそれぞれ制震・免震施設、鉄道施設のまとめ方について報告があった。

報告書に関する意見交換

報告書の内容等について意見交換を行った。決定事項は以下のとおり。

<報告書構成>

境委員、大谷委員担当部分の順番を入れ替える。

<今後のスケジュール>

報告書について、各委員の担当分を次回までに概ね完成させる。

日本地震工学会年次大会への論文投稿について

中村幹事より各委員へ「社会基盤施設・産業施設のシステム安全性評価と復旧早期化戦略」セッション（座長：高田委員長）への論文投稿依頼があった。

今後の予定：次回は11月28日15:00～を予定。

以上